

「優しい気持ち」

七郷小学校 六年 林 愛翔

おじいさんが道を歩いている
つえをついて歩いてる
足を少し引きずってるかな
いまにも転びそうでドキドキする
僕はそっと後ろを歩く

おばあさんがバスに乗ってる
座席の持ち手につかまって
必死に体を支えてる
大丈夫かなと心配になる
僕は勇気を出して席をゆずる

僕は野球も空手もゲームも出来る
でもいつか僕もおじいちゃん
きっと優しくしてもらいたい
きっと助けてもらいたい

だから僕は出来ることなら何でもしよう
優しい気持ちで助けてあげよう

